高橋はるみ北海道知事が来町

8月8日、高橋はるみ北海道知事が本町の視察に訪れました。高橋知事が本町を訪れるのは知事就任以来初めてのことです。

今回の訪問は、本町と占冠村の行政視察として、高橋知事が両町村長と直接対話することを通じ、両地域における状況を把握し、道政の課題を解決して、協働による効果的な道政の推進に資することを目的として行われました。

午前中に占冠村を視察された高橋知事は、富樫秀文上川支庁長、小林豊占冠村長とともに午後1時前に本町に到着。幾寅の女性サークル仲間4名（新田勝子さん、天谷信子さん、高松冴子さん、西山雅子さん）が「マチおこしの一助に」との思いから、6月に開店したばかりのそば処「みなみ」で昼食を取り、北落合産のそば粉を使用したおろしそばに舌つづみを打っていました。

昼食後、高橋知事は、「農産物処理加工センター」を視察し、大西所長から、施設概要などの説明を受けた後、工場内に移動し、加工センターの主力商品である「バタじゃが」の製造行程を熱心に視察していました。

この後、今年4月に道の駅敷地内に開店した、なんぷ～香房「森のパン屋」を視察し、施設の説明を受けた後、パンや煎餅を製造している工場内に移動し、従業員の皆さんに笑顔で話しかけるなど、なごやかな雰囲気の中視察が行われました。従業員の皆さんは、高橋知事からの激励に、「これからもがんばります。」と笑顔を見せながら応えていました。

視察の終了後には、従業員の皆さんと記念写真を撮り、札幌へと帰路につきました。

昼食後、従業員の皆さんと握手を交わす高橋知事

農産物処理加工センターでバタじゃがについて説明を受ける高橋知事

森のパン屋で従業員に笑顔で話しかける高橋知事

森のパン屋の煎餅の製造について説明を受ける高橋知事

町長と固い握手を交わす高橋知事